

IP 入退室管理システムへ移行する際に考慮すべき 7 つのこと

IP ベースの入退室管理システムに移行する準備はいかがですか？ 移行を成功するには、事前の計画と慎重な検討が欠かせません。移行を開始する前に既存のシステムを評価し、切り替えに要する時間やコストを把握することが必要です。

移行をトラブルなく進めるために次の 7 つの項目に留意してください。

1 保有している既存のハードウェアの種類は？

次の条件に合致していると IP ベースの入退室管理システム (ACS) への移行をシンプルに行えます。

- 既存システムが製造元固有の仕様や接続条件があるカードやリーダーではないこと
- 既存のインテリジェントコントローラとダウンストリームインターフェースパネルが、オープンアーキテクチャ上に構築されていること

次のようなレガシーなリーダーの場合は完全な交換が必要となります。

- 既存のリーダーが製造元独自の接続条件しかサポートしていない



2 どのようなソフトウェアを移植する必要があるか？

移行を開始する前に、既存のクレデンシャル情報のネイティブデータ、現在のデータベースから情報をエクスポートするためのツール、さらにソフトウェア開発キット (SDK) を使用してシステム構成に統合されたサードパーティコンポーネントを考慮しなければなりません。



3 既存のネットワークは移行に対応できるか？

ローカルサイトとリモートサイトの両方が存在する分散システムから PoE 入退室管理ソリューションに移行するとき、サイト間の通信の遅延と帯域幅の問題が生じないかを検討する必要があります。



4 既存のシステムの配線状態は？

新しい IP ベースの ACS の導入時に既存の配線の一部を再利用できる可能性があります。移行作業前に、既存のケーブルの仕様と新しく設置する機器の要件をチェックしてください。移行中に現在の ACS の拡張を行う場合は、追加の配線が必要になる場合もあります。



5 システム稼働のために使用される電力は？

現在のシステムは 12V 仕様ですか、それとも 24V でしょうか？ DC または AC？ 新規に導入するハードウェアコンポーネントの稼働に十分な電力を供給できるかどうかを確認しておく必要があります。



6 新しいソフトウェアの使用法のトレーニングは？

オープンで柔軟な IP ベースのシステムへの移行を成功するには、ユーザーへの新しいソフトウェアの使用法のトレーニングが欠かせません。作業タスクと使用するクライアントアプリケーションをもとに、個々のユーザーに必要な最適なトレーニング項目を策定することで、スタート時のトラブルを防止します。



7 新システムのインテグレータと製造元からどのレベルのサポートを受けられるか？

入退室管理システムの移行には、プリセールスエンジニア、テクニカルスペシャリスト、フィールドサービスエンジニア、サポートエンジニアの各専門知識が求められます。新しいテクノロジー製品を設置するインテグレータが提供可能なサポートのレベルを考慮しておくこと、また新システムの構成要素となるコンポーネントの製造元やソリューションプロバイダについても同様に考慮しなければなりません。



ご質問はありませんか？

Genetec の IP 入退室管理システムがどのように動作するのか、製品エキスパートによるデモでご紹介いたします。

[製品デモをリクエスト](#)